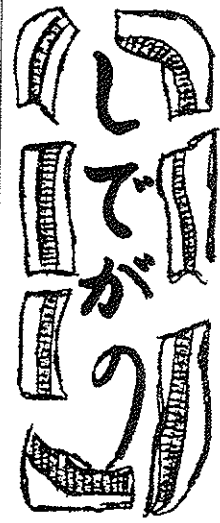




陶芸作りに励む五年生



しでがの通信

第 74 号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

として保存して下さい

積極的な

P T A 活動への参加を

P T A 会長 伊 藤 淳 一

目 次

P T A 会長挨拶.....	1
伝統を受けついで.....	2
おわかれのごあいさつ.....	3
新任教師の紹介.....	5
教師の願い.....	6
専門部だより.....	8
P T A 総会報告.....	10



昭和五十六年度
総会には、新装な
った体育館に四百
名に近い会員の皆
様のご出席を得て、
新年度の事業計画、
予算など全ての議
案のご承認を受け、
新年度がスタート
いたしました。ご
承認を受けた活動

方針に基き、羽津北小学校との分
離までのこの一年間、半歩でも前
進したP T A 活動が出来るように
役員の皆様とともに努力してゆき
たいと考えております。
会員の皆様のご協力と積極的な
P T A 活動への参加をお願いいた
します。

物質的にめぐまれて、核化し、
連帯感のうすれていく社会傾向の
中で、青少年の非行が大きな社会
問題として取り上げられている今日
の教育環境を考える時、私たちP T
Aのはたさすべき役割の重要性を再
認識するとともに、その活動の内
容においても、子供たちの健全な
育成を第一に考えた地味であっ

ても、きめのこまかい活動の比重
を高めていくことが必要だと思
います。

このような観点から本年度は、
P T A 活動の原点である学級会、
町別会の見直しと充実化を従来か
らの専門部活動と平行して取り上
げたいと思います。具体的には、
学年別あるいは学級別に親と教
師と子供がいっしょに参加し、心
のふれあいの持てるような行事、
親と教師、あるいは家庭と学校の
間の意志の疎通が十分に計れるよ
うな形での、懇談会の開催などを
企画したいと思えます。

多数の会員の皆様の参加と、積
極的な発言を期待してあります。

伝統を受けついで

学校長 山中久二



校門を入って、目に映る老松は、創立百余年を数える伝統ある学校の重々しさを

感じさせる。何代かの卒業生を送り出した講堂もとりはらわれていた。増築を重ねた鉄筋の校舎や、塗料の匂いにする体育館やプールのたたずまいとは、新旧の微妙な調和が描かれている。これらの教育環境から受ける印象は、古い伝統のある豊かな教育の土壌と、そこに育ってきている新しい息ぶきを感じる。又、学校をとりまく街並みも、学校の情景によく似て、新旧とり交えた装いを示している。ここに育ってきている子どもたちは、よくこの環境を体一杯に宿していることが目につく。それは、朝夕や室内でのあいさつをよくしてくるし、それも心のこもった形の整えられた礼をつくしてくる。又、清掃の時などは、よく働き、ゆきとどいた活動をしていくことである。新しい感覚も、古きよき美に包まれているようにも感じとられる。この子どもたちのよさを、変革されていくだろう世情の中にあっても、こわすことなく伝統の輪の中に包みこみ、培かってやりたいものだと考えている。睡、中には一握りの子たちが、これらの輪から飛び出し、校外での

生活に乱れを起していることもある。伝統ある本校にも、世の縮図となる課題もあることを教えてくれている。

これらの課題を捉えながら、県下一、二を競うマスモス校だけに、ここに学ぶ子どもたちと、教えることににかかわる大家族の職員にも、夫々の個性とよさを出し合い、支え合って、過保護でない励み合いの生活を築こうと呼びかけている。更に子どもたちには、友だちの心が痛いほどわかる心情と、頭で考え、心で受けとめ、からだのためす自主性を育てたいと念願している。

これらの学校のめあてを、各家庭においても理解いただき、考える訓練なしに、オーム返しに荒々しく返答する子でなく、じっくりと考え提言する子の育てに、心い

別課題として、来年四月羽津北小学校を分家する年に当たっている。母屋が新屋分けする時は、色々な意味から気をつけたい、母屋以上の骨組みを築いてやることだと、古老から教えられている。この面への格段のご支援とご助力をお願いしたい。

毎朝、風雨の強い日も、三〇ヶ所におよぶ交差点で、子どもたちの安全登校のため、立哨いただいている姿に接し、頭の下がる思い

万古祭協賛

作品展



の毎日である。子どもたちには、今の豊かで健康な心身は、深いご両親の慈愛と、温かい地域社会のおもいやりがあって育ってきたことを、心情として、身につく教育に徹したいと考えている。百余年の伝統に、年々の一頁が豊かに味よくつけ加えられるよう倍旧のご協力をお願いしたい。

お別れのごあいさつ

前学校長

村

上

忠

夫



お別れしてからはや一か月余り、風薫る新緑の好季節になって参りました。

皆様には、ますますご健勝のこととおよろこび申し上げます。去る三月末の異動は、退職者六人をふくめ、十六人に及ぶ大きな異動でございました。在任年月に長短はありますものの、それぞれに忘れられない思い出をこめて、別れを惜しんで去られたことと思

います。お世話になった三年間、歴代PTA会長さんをはじめ本部役員の方々の、なみなみなならぬご援助と、会員の皆様のあたたかいご協力にささえられて、充実した日々を送らせていただいたことを大へんうれしく思います。皆様方のご熱意ご厚情につつしんで厚くお礼申し上げます。三年間「何をしてきたか」と問われると、はなはだ申し訳ない次第ですが、関係各方面の方々のご尽力で、プール、体育館が完成し、

永年にわたる校舎建築が一段落したことは、この上ない喜びでした。この間、私事をかえりみる暇もなく、連日のように学校に来て、お助けくださった会長さんに「あなたの出勤簿を学校に移してもらわなきゃならんほどですね」とまことしやかに申し上げたことを覚えていています。さて、「任地をはなれて前任地のよさがわかる」とは、よく言ったものだと思えます。一か月を経過した今、羽津のよさを、しみじみ感じています。「環境が人をつくる」と言いますが、志氏の森に続く松の緑、春の桜に、秋のもみじに包まれた白壁の学び舎は、まさに絶好の教育環境です。やがて成人し、異郷に出た子どもたちに、母校を思い、羽津の地をなつかしむ心情を抱かせるにちがひありません。羽津の学校に学んだことは、大きな誇りと言えるでしょう。

このことは、教育にたずさわる者にとってまことにありがたいことであり、教育効果をあげる原動力です。学校の子どもは地区の子であり、地区の子どもはまた学校の子であるというコミュニティスクール（地域社会学校）の理念のもとに、学校、家庭、地域が一体となつて、子どもの教育を考えることは、とても大切なことです。この意味において羽津は先駆的な地域だと思えます。羽津北小の開校を明年にひかえ、その準備も大へんなこと存じます。学校分離の経験豊かな山中校長を迎えられ、また伊藤会長さんのよきリーダーシップのもとに、皆様のご熱意、ご協力によってついに開校されますようお祈りしてお別れのことばにいたします。

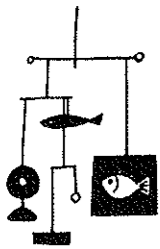
★退

- 教諭 山本 文
- 教諭 小柴恵美子
- 教諭 平子伊都子
- 教諭 松井 妙
- 教諭 服部ツヤ子
- 教諭 安達 禎子
- 講師 武藤 弘
- 養護 伊藤 光子
- 学校 松岡 正子
- 栄養 柴養

人	事
異	動

★転

- 校長 村上 忠夫 中部西小 学校へ
- 教諭 小林 秋次 浜田小 学校へ
- 教諭 広瀬 松代 富洲原小 学校へ
- 教諭 石咲 晴美 海蔵小 学校へ
- 教諭 藤井美佐江 常盤中 学校へ
- 給食 伊藤としゑ 富田小 学校へ
- 給食 横山 康子 富洲原小 学校へ



新任教師の紹介

どうぞよろしく

おたづねします

一 名前

二 好きなテレビ番組

三 好きなタレント

四 教師になられた動機

一、古川 順子 三一六
二、NHK、大河ドラマ 女太
閣記。

三、特になし。
四、学生時代、青少年の非行に
ついて調べてみて、放って
おけない気持ちになり、子
供達を正しく教育すること
に参加したいと思ったから
です。

一、黒崎 豊美 養護
二、女太閣記
三、クラーク・ゲイブル
四、生徒の健康管理をし、厳し
いようで暖かい そんな感
じのする養護の先生方を
見ていて、是非私も児童に
信頼されるような養護教諭
になりたい。

一、福田 親子 四一二
二、漫才や、落語。
三、芸能界は嫌いですが、強い
て言えば、五十嵐 浩晃。
四、何でも人生勉強のうち、と
言うのが正直なところです。

一、谷口 快爾 六一一
二、今の季節では野球。
三、寺尾聡、石原裕次郎。
四、子供が好きだからと言う事
と、子供達が楽しく勉強出
来、どの様に成長していく
のかを知ることが出来る職
業を選びました。

一、西村 茂 五一三
二、西部警察
三、古手川 裕子
四、中学か、高校の体育の教師
になりたかったんですが、
いつの間にか小学校の教師
をみざす方向に歩いていま
した。

一、五十棲 孝子 三三三
二、特になし。ついていけば、
見る程度。
三、大原 麗子
四、中学一年の時に好きだった
先生の様に、なってみよう

と思ったから。

一、平田 佐康 二一一
二、熱中時代
三、水谷 豊
四、なんと言っても、子供が好
きなこと。この一点につき
ると思います。

一、服部 桂代子 専科
二、スポーツ、音楽。
三、一生懸命に生きている人は、
誰でも好きです。
四、子供の純粋さ、素直さ、屈
託のない明るさに魅せられ
たからです。

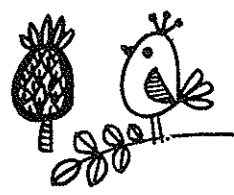
コーラス部へ参加を！

大市、藤田両先生の御指導
のもとに、月二回（金曜日、
午後二時三〇分より）練習を
致します。お腹の底から声を出して
ストレス解消と共に、
家庭に歌声を……。
男性諸氏の参加も歓迎しま
す。



- 技士(新) 黒崎 豊美
- 給食(転) 森 洋子
- 専科 四一二(新) 大市ます美 養護(転) 三浦 兼子 五二二 藤田千香子
- 福田 親子 三一三(新) 専科(新) 藤部桂代子 佳子 六一一(新) 谷口 快爾
- 学校栄養(新) 五十棲孝子 服部桂代子 用務 末沢 元宏
- 井村 智寿 四一五 山本 和子 二一六(転) 水谷富美子 六一二
- 五二三(新) 山村 和子 岸本美智子 給食 服部 初美 六一三 都築きよ子
- 西村 茂 給食 筒井 和子 四一六 水谷 敏夫 教頭 古市 祐治
- 平田 佐康 二一一(新) 山川みさ代 二一二 高橋てる子 校長(転) 山中 久二
- 坂野 修一 給食 伊藤 静子 三一四 山田 考枝 五二五 隅田 信子 六一五 茂
- 主事 田中 久次 伊藤 栄美 二一五 伊藤 静子 二一三 岡田ふみ子 六一四 倉田喜美子
- 安田 光男 一四五(転) 伊藤 恵子 二一四 岩井千代子 四一一 伊藤 美穂 三一一 平田 清則
- 中山 佳之 丸山 洋子 一〇二 内山 治男 四一四 桜井美佐子 専科(転) 立松 和紘
- 安藤 勤 市川 淳子 五一六 小谷 博美 一一三 近藤 依子
- 古川 順子 三三六(新) 水谷 栄子 一一四(転) 市川 さら 四一四
- 杉本八重子 三一二
- 給食 稲田千香子

教師の願い



こんな一年生に

一年 担任

「入学、おめでとう。」の言葉から、早一ヶ月たち お子様方もやっと 学校生活に慣れかけたところだ。

義務教育の第一歩の学年を担当して、こんな子に育ってほしいと思います。

●自分のことは、自分でやる子に。衣服の脱ぎ着、学習用具の扱い、食べること、トイレのこと等自分でやらなくてはならないことは、たくさんあります。基本的な生活習慣を身につけないと、はじめのある生活ができません。手だしをしすぎては、いけないでしょう。自立心を育てる第一歩ですから 適当なアドバイスをして見守りたいと思います。

さえることを学んだり、協力することを体験したりして、強い心、やさしい心が育ちます。友達との輪が広がるにつれて、学校が楽しいところとなるのです。運動に親しみ、日光の下で、なかよく遊ぶ姿が 素晴らしいです。

●思ったことが話せる子に。楽しかったことを話しかけても「今、いそがしいから：。」と口を封じてしまうことはないでしょうか。対話は、親子の心を結ぶといわれます。学校でもお友達との対話を大切にしたいと考えます。話しことばの中には、子供を理解する上で、大切なことがたくさん含まれています。人の言葉に 耳をかたむけ、よく考え、はっきりと自分の思うことが話せる子、國語力のある子に育ってほしいと思います。

一人ひとりの子供をみてみると素直で、子供らしく実に可愛い。それがグループとか学級の大きな集団になると、勝手なことをする。喧嘩をする、暴力をふるう、ボスの存在になる。また、仲間に入れない。ちよっとしたことでメンメン泣く。先生に告げ口を何度もする。等の子供がどのクラスにもいるものである。これらは、各々性格もあろうが、環境や育て方にも原因していることが多分にあるように思われる。

います。

こんな二年生に

二年 担任

こんな子にしたい

三年 担任

●友達と仲よく遊べる子に。学校は集団生活の場ですが、友達との遊びを通して、我儘をおさ

一年生から二年生に進級して、背のびしたくなる子、一年間の学校生活の慣れから、気のゆるみを示す子、こんな子どもたちが、この時期によく見うけられます。また自己本位です。しかし、友達の存在を意識し、友達に認めてもらいたいという願いを抱き始めています。

●生活面の指導では、「他人に迷惑をかけない子」を育てるといふことを、生活指導のバックボーンとしていきたい。

し で が の

せる。最後に思いやりをもたせる。ありがとうの言える、そして、感謝の気持ちのもてる子にする。以上こんな子供に一步でも近づけるようがんばりたいと思う。ご父兄の皆様のご協力をよろしくお願ひします。

現代つ子に望むもの

四年 担任

最近の子どもたちは、広い意味で、「現代つ子」と呼ばれていきます。その語感から受ける響きは、如何にも現代社会にマッチした、社会的適応能力に優れた子どもたちのように見えます。

しかしながら他方では、「もやしっ子」と呼ばれる子どもたちが増えていることも事実です。これは周知の通り、以前の子どもには考えられなかった様な病気がかかったり、日常のストレスがたまって、精神的に衰弱した子どもたちが増えてきていることを意味しております。

こうした意味の他に もう一つの特徴として 所以、ひとりよがりやあまつたれ根性、つまみぐい根性といった、要するに功利的、利己的になって、更には、「まあ、そんなもんさ」というふう

を、限定して諦めてしまう傾向もありません。このような実態を、よく理解した上で、今後、子どもたちに次のようなことを望み、育てていかねばならないと考えます。

個

五年 担任

「先生、教育するってどんなことや。」

三年前に、ある父兄から急に聞かれました。一杯入った席のことでした。

「教育ってというのはね、十把一からげで、これはこうだ、あれはどうだと教え込むことじゃないんです。できるだけその子の長所を見つけてやり、伸ばしてやることであり、その子の短所をなおしてやることなんです。つまり、子供

が個性を伸ばそうとするのを手伝ってやることです。」

こんな席でと、ちよっとおどろきました。が、たまたま教育とは何と？と試行錯誤していたときでしたのでそんなふうには答えました。その人は、さも嬉しそうに、「わしゃ、あんたが気に入った。まあ一杯。」

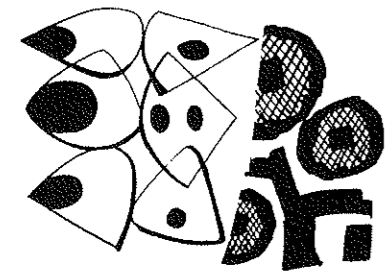
忙しい毎日ですが「一人一人を大切にし、個の伸長を図る」目だけは忘れないでいたいと思っております。子供も高学年の仲間入りして張り切っています。自分も友達も大切にしたいです。

六年生としての目標

六年 担任

学校の授業は、八教科・道徳・特別活動の三つの領域からなっており、それぞれに特質があり、その特質を十分に発揮していくことによつて、教育目標を達成し得るのである。

- 学習面の指導では、
- ・基礎・基本的事項の徹底。
- ・一人ひとりに即した学習の展開。
- ・自ら学び取る態度の育成。



- ・考えることから創り出す子を。
- ・体験的な学習の導入。
- ・などを指導の重点としてやっていきたい。どれを取り上げても、学習に欠くことのできないものであるが、学級の実態に即し重点化していきたい。
- 生活面の指導では、「他人に迷惑をかけない子」を育てるといふことを、生活指導のバックボーンとしていきたい。
- その他の指導では、
- ・学習や生活の面の重点だけでなく、指導のポイントをいろいろと考えていきたい。
- ・教師と子供の間関係を大切に。
- ・明るい学級を作る。
- ・協業の精神を培っていく。
- ・ねばり強い子にしていきたい。
- ・こんなことを願ひながら、この一年間がんばっていききたい。

専門部だより

環境整備部

新学期をむかえ、希望に夢をふくらませた子供達が、元気に学校へ通うのを見ますと、果たして楽しい学校生活がはじまっているのだろうか、広い校庭が目に見えるのか、学校環境の美化整備活動を主として、子供達の活動のびのびと、運動、学習にとりくめる環境をめざしております。

- そこで、今年の活動といたしまして、
- ・ 学習園造り（プールの北、東部の土盛りの場所）
 - ・ 土ぬぐいと駐車場及び、東の進入路の整備（砕石入れと整地）
 - ・ 北門入口のコンクリート整備
 - ・ 体育クラブ用のコート作り（土入れ整地）
 - ・ 温室整備
 - ・ 例年の全員奉仕作業
 - ・ 焼却炉の掃除
- などを予定しております。

安全補導部

各町一名づつの部員の方々と協力して、この一年間子供達の為に何事にも真剣に取り組んで行動していきたいと思っております。どうかよろしくお願い致します。

この度、五十六年度の安全、補導部長を拜命し、その責任の重大さを、痛感している次第です。安全部としましては、五十六年度のPTA活動方針の案に、子供達の心身の安全がはかれるよう、交通安全教育と危険箇所の安全確保、非行防止などに対し点検と対策の検討を実施し、正しい指導の実践に努める」と記されているように、部活動も取組むよう計画しました。

- 四月 部会
- 五月 部会・交通安全教室
- 六月 部会・立哨委員会
- 七月 自転車点検
- 八月 危険箇所巡視パトロール部会
- 十月 部会

母親部

十二月 年末パトロール
二月 反省会
この様な計画を進めたいと思えますので部会・会員の皆様のご協力をお願い致します。

コンニチワ、皆様ごきげん如何ですか。今日は母親部を少しでも理解して頂くために筆をとった次第です。

母親というものは、その家の隠れた存在であると同じで、母親部もPTAに対して内助の功を発揮していくつもりです。だから部長、副部長、部員という縦のつながりでなく、各部員が協力し、横のつながりで「輪」になって行事に当たっていくように思っています。

役員だけの母親部であってはいけません。あなたがたの一人、一人が手をさしのべて、この「輪」をより大きなものにしていくことがありませんか。

その為にも、楽しく参加出来るようなプランを立てるつもりですので、多くのかた達の御協力をお願い致します。

文化部

文化部は、クラス学級委員の内から一名、町委員より三名、本部より顧問として二名、そして内山

先生を交え、総勢四二名で活動を開始しました。

今年は、ほとんどが学級委員の方で構成されていますので、学級懇談会等の充実をはかり、学級、学年を通じて親、子、先生が一体になれるようないろいろな企画していく窓口になりたいと思っております。

「しでの」発行については、私達文化部だけで作るのではなく、PTA全員の協力の基に作ってほしい、そして紋切型でなく読んでいて親しみのもてる楽しいものにしたと願っています。又、新しく広報委員を設け、PTA関係の行事等は出来るだけ早く皆様にお伝えしたいと思っております。

その他、夏には陶芸教室、そして十一月の両親学級の後に講演会も予定しています。

福祉部

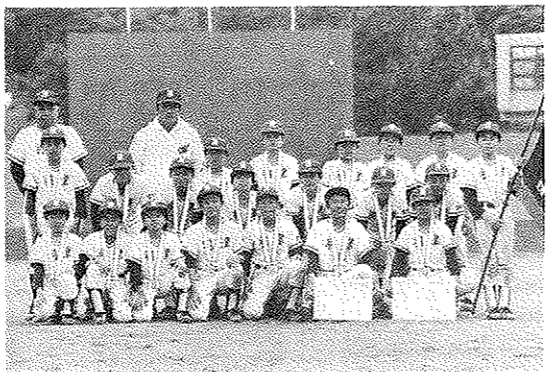
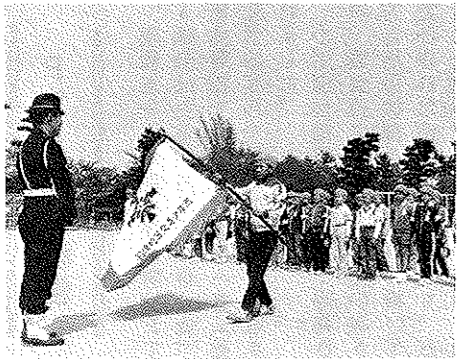
福祉保健部の年間活動の重なるのに、年度前半に行ないます一年生の御父兄を対象とした給食試食会、又先生とPTA会員相互の親睦と体力増進を兼ねた親善ソフトボール大会が、後半には児童の学校生活を充実させる為の必要資金の一端を担うバザーがあり、部員一同行事遂行に張切っております。会員の幅広い御理解と一人でも多くの参加、御協力をお願い致します。

羽津地区交通安全少年団

交通安全少年団の目的は団員自らが交通安全と事故防止の対策を考へると共に、日常生活を通して交通安全の認識を深めるために団員の育成を計ることを目的としています。

羽津小学校在学生の五・六年の中から百名程の児童が選ばれ、四月二十二日に入団式が行なわれました。各町通学団のリーダーとして毎朝、交通ルールを良く守り、安全に登校しています。

又家庭に於かれましても、出来る限り児童の交通安全に御留意して頂き、交通ルールを守るよう御指導下さいますようお願い致します。



(輝く県大会優勝)

羽津スポーツ少年団

軟式野球部

第十一回、三重県少年学童軟式野球大会、兼第一回、全国少年学童軟式野球三重県大会が五月三、四日の二日間、伊勢市倉田山球場で開かれ県下各地の予選を勝ち抜いた十一チームにより争われ、四日市代表の羽津チームは桑名市、津市、亀山市の各代表を次々と撃破し、優勝戦は強豪尾鷲チームと争烈な打撃戦を展開した結果、練習量とチームワークに優る羽津チームが八対四で見事初優勝を飾つ



五月十二日一年生のお母様方を

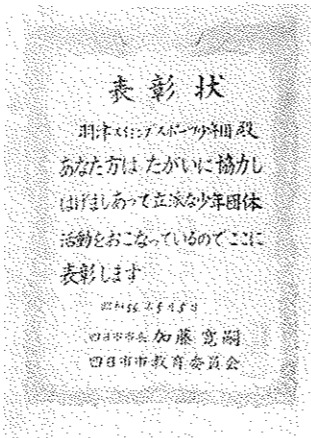
給食試食会を終えて

た。同チームは七月五日岐阜市で開かれる東海地区へ三重県代表として出場することになりました。今後とも皆様の御協力と御声援をお願い致します。

柴田崇光 記

うれしい表彰(5月5日)

羽津スイミング部



対象に給食試食会を開きました。今回は例年になく参加者も多く四会場に分れての賑やかな試食会でしたが、お母様方の学校給食への関心度の深さを節々に感じました。

保険団体だより

保険団休理事長 安藤信行

五十六年度の第一回全委員会が、四月十三日十四日より体育館において、多数の委員の出席のもとに、開催されました。当日は郵便局の方から、集金業務について、細部にわたって説明がありました。今年一年間各町保険代表、委員の方々には大変御苦労をおかけ致しますが、羽津小学校の教育の充実、環境設備拡充の為会員皆様方の暖かい御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

P T A 総会報告

昭和五十六年度羽津小学校P T A総会は去る四月二十四日(金)新体育館で、参加者二九八名(委任者四百八十八名)の中で開催されました。

小川副会長の開会の辞で開幕され、森会長よりP T A活動の在り方と活動状況を報告され、続いて赴任された山中校長先生より、方針と今後のP T A活動の発展を期待する挨拶があり、来賓を代表され、前任者村上校長先生から祝辞をいただきました。

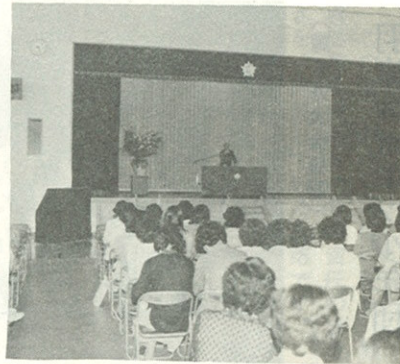
転退職先生の紹介を、古市教頭先生より行って頂き、本年はフレッシュな若い先生が多く、会員の方は、身を乗り出しうなづいていた。その後、総会議長選出後、議事に入り、

- 一、昭和五十五年度、事業報告、会計報告、会計監査報告。
- 二、保険団体事業概要、会計決算

報告、同会計報告。
三、昭和五十六年度、役員選出結果報告。

- 四、新旧役員挨拶(旧、藤井副会長、新伊藤会長)
- 五、P T A功労者、永年勤続職員、感謝状並び記念品贈呈。
- 六、昭和五十六年度、活動方針、事業計画、予算案に関する件。
- 七、保険団体の一任の件。

以上P T A総会が全参加会員の暖かい御協力により成立されました、安藤副会長の閉会の辞で幕を閉じました。



功労者表彰

永年羽津小学校P T A活動に積極的に参画された方に、P T A総会の席上に於て、感謝状並び

に記念品を贈りました。

- 森 憲一 (羽津一)
- 小川 良二 (羽津二)
- 藤井 久子 (城山)
- 早川 和宏 (富士)
- 藤井 直之 (別名五)

本部役員

会長	伊藤 淳一	別名四
副会長	安藤 信行	羽津山
書記	平田 幸子	八田一
会計	伊藤 一之	別名五
会計監査	水谷 敏夫	学校
顧問	森 宗一郎	別名四
文化部	高橋てる子	学校
安全補導部	加藤 已善	大宮東
母親部	石田久美子	羽津山
福祉保健部	中山 久二	学校長
環境整備部	古市 祐治	教頭
	鬼頭 洋二	羽津山
	須頭 啓一	大宮北
	奥岡 美佐	大宮西
	山下 幸翁	羽津山
	森 一孝	別名二

委員会だより

新旧合同常任委員会

二月二十七日(金)

- 一、体育館落成行事について
- 二、昭和五十六年度P T A役員の選出

- ・本部役員
- ・専門部部長

第一回全員委員会

四月二十日(月)

- 一、昭和五十六年度、P T A役員承認

二、昭和五十六年度、方針、同予算について

三、昭和五十六年度、各部活動計画案について

四、専門部別会

・副部長選出

・年間活動計画案について

第一回常任委員会

四月二十日(月)

一、各専門部の年間行事計画について

二、給食試食会について

三、P T A総会について

で	す	く
さい	ど	

◆五十六年度第一号をお届けします。これでも大急ぎで作りました。

◆全員久しぶりにすっかりお休みさせていた頭を使い何んとなく学生気分になりました。

◆ある部員は心労のためすっかりやせてこれからの一年が思いやられます。

◆次号「しでの」は 六月末発行予定。お楽しみに。